

一般国道202号

# 春吉橋架替事業

2018.9.18



2020.1.28



2022.2.26



# 一般国道202号 春吉橋架替 (福岡県福岡市)

旧春吉橋は、昭和36年(1961年)架設から60年以上が経過しており、下部工の損傷が著しく、感潮区間(河口から約1.5km)にあるため、塩害も進行していました。さらに基礎が木杭であるため、地震に対する十分な耐力が期待できませんでした。

また、旧春吉橋が架かる那珂川は、平成21年(2009年)7月の中国・九州北部豪雨で流域に甚大な浸水被害が発生しており、福岡県で河川改修事業を進めています。旧春吉橋は橋脚の間隔が短く、川幅も狭くなっていたため、治水上のネックとなっていました。

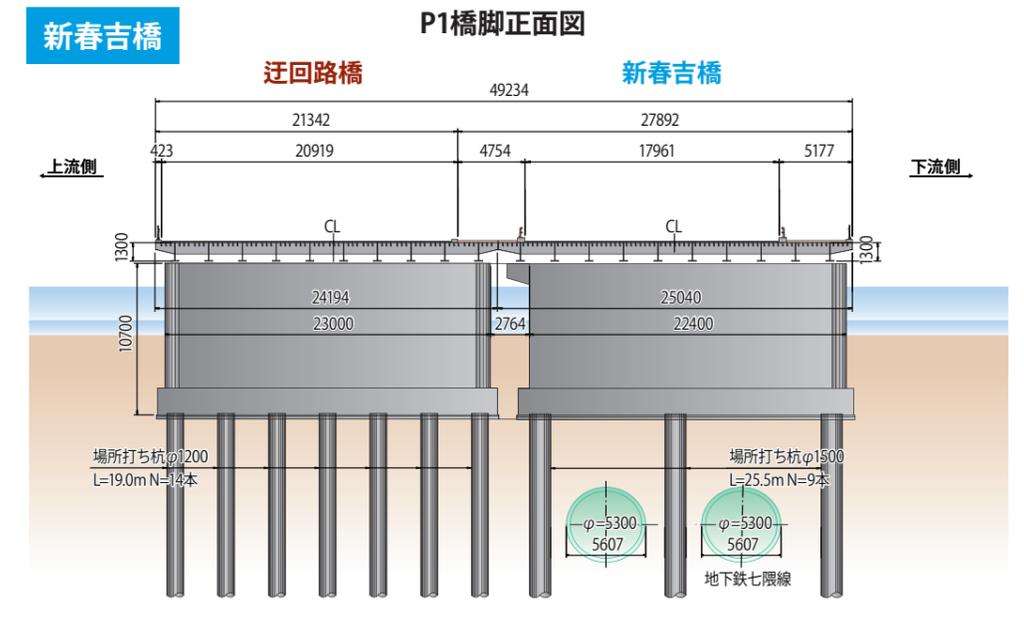
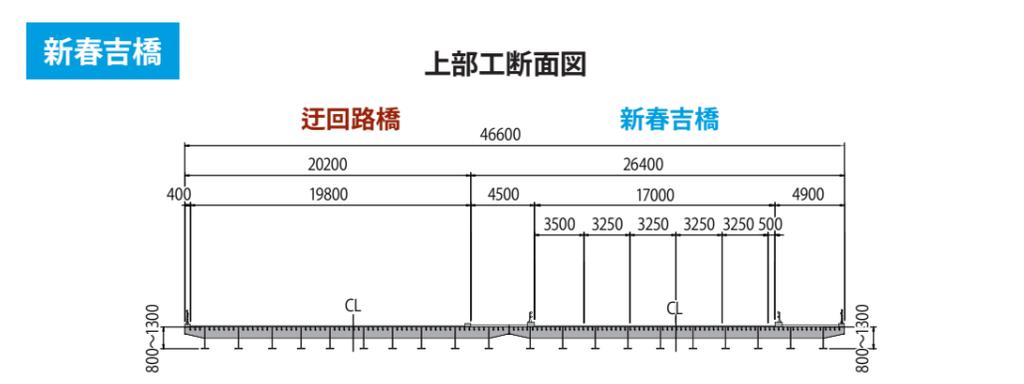
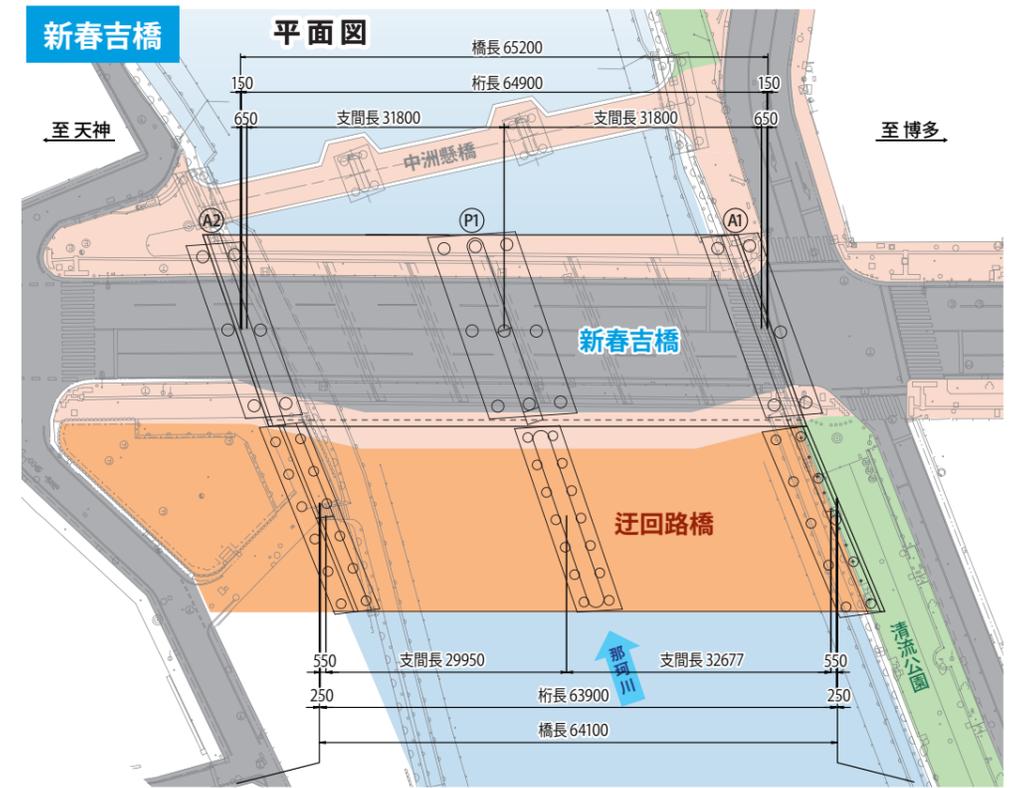
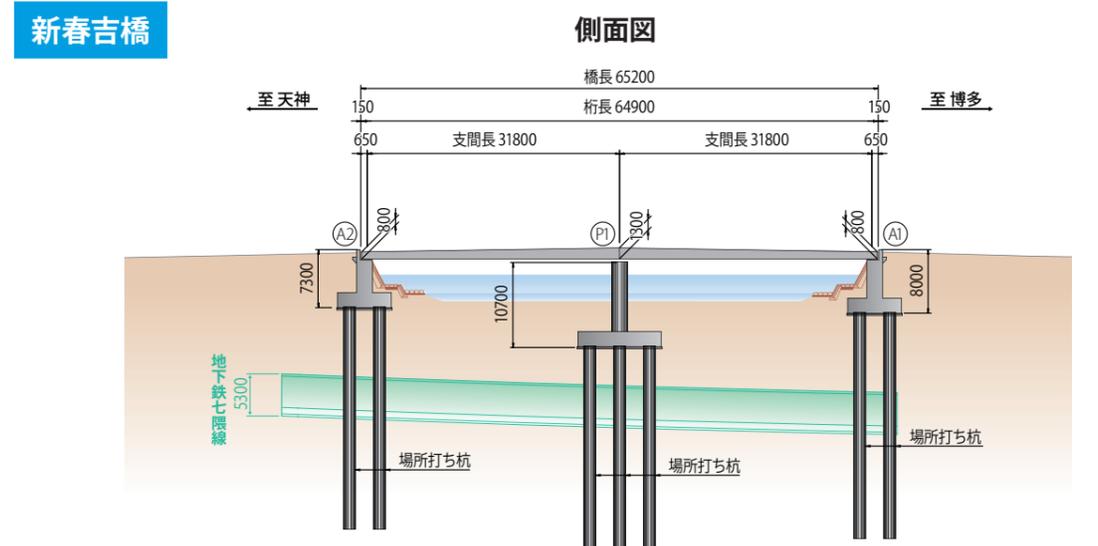
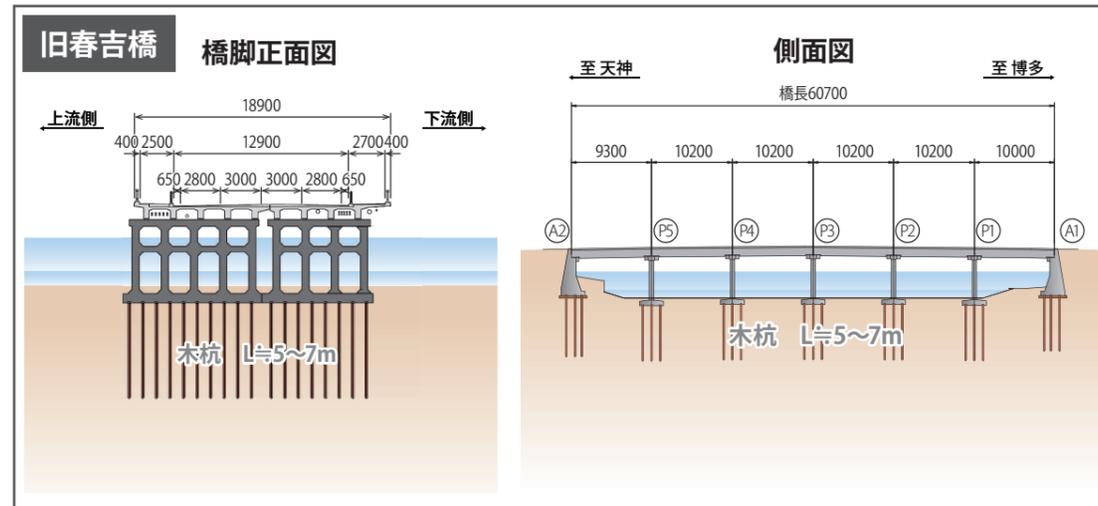
これらの課題を解消するため、平成25年(2013年)度より、旧春吉橋を架け替える事業に着手することとなりました。



旧春吉橋の損傷状況 コンクリート剥離・鉄筋露出



旧春吉橋周辺の道路の冠水状況(平成21年7月26日)  
(住吉橋左岸より上流側を望む)



## 事業経緯

昭和36年	春吉橋架設 全長60.7m、幅員18.9m
平成25年	春吉橋架替事業開始
平成27年	工事着手
令和元年	迂回路切替
令和2年	下部工工事着手
令和4年	本線切替

## 諸元

	旧春吉橋	新春吉橋	迂回路橋
延長	L=60.7m	L=65.2m	L=約64m
幅員	W=18.9m	W=23.8m	W=約24m
杭	木杭	コンクリート杭	コンクリート杭

# 道路空間の再編

## クルマ中心から「多様な利用者の共存」へ、道路空間を進化

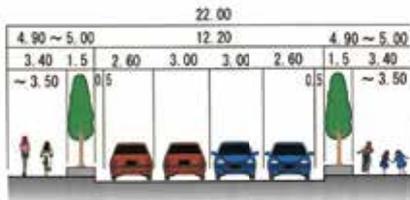
道路はクルマだけではなく、特に、都市部の一般道路では歩行者、自転車、新たなモビリティなど多様な利用者が通行しています。クルマの交通の円滑化を主な目的とする幹線道路ネットワークの整備の進展に伴い、今後はクルマ以外の利用者も含め、多様な利用者が安全・安心して共存できる環境整備を積極的に進めます。さらに、道路空間が地域活性化の場として進化していくように、地域の街づくりと連携した空間創出も積極的に進めます。

## 春吉橋賑わい空間の創出

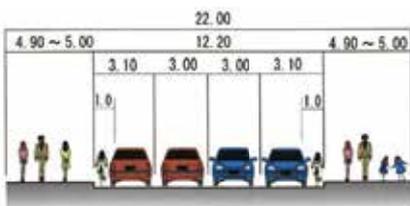
### 迂回路橋を利用した、賑わい空間を創出

国体道路の春吉橋は、治水安全度や耐震性等の向上のための架替事業に平成25年度から着手しています。橋の架替については、仮設の迂回路橋を設置し、旧橋の架替後に撤去するのが通例ですが、この事業では、迂回路橋を永久橋として建設し、架替後も存置して、都心部の中央としてのポテンシャルを活かした賑わい空間を創出する計画としています。なお、空間の具体的な活用方法については、福岡市が検討を進めます。

また、周辺の国体道路についても、地域の意見を伺いながら、歩行者、自転車等の多様な利用者を考慮した空間再編の検討を進めます。



▲中洲現況断面図



▲中洲将来断面図

### 春吉橋賑わい空間のイメージ

#### 昼間の空間イメージ



出典：博多と福岡を結ぶ国体道路の空間利活用検討会・提言書（令和3年8月）

#### 夜間の空間イメージ



出典：博多と福岡を結ぶ国体道路の空間利活用検討会・提言書（令和3年8月）

※上記はイメージであり、確定したものではありません。

2022年3月



国土交通省 九州地方整備局  
福岡国道事務所

計画課

〒813-0043 福岡県福岡市東区名島3丁目24-10

TEL:092-681-4731 (代表) <http://www.qsr.mlit.go.jp/fukkoku/>